

東日本大震災により三重県内へ避難されたみなさまへ

このたびの大震災により、一時的にでも故郷を離れざるを得なくなったみなさまの心中をお察しするとともに、帰郷できる日が一日でも早く訪れることを願っています。

さて、現在 200 名を超える方々が三重県内各地で生活をされていますが、個人情報共有の壁などにより、みなさま同士の情報交換すらままならず、知らない土地での避難生活や生活再建に不安を感じる声が寄せられています。そのため、定期的に県内の各種支援情報を提供したり、避難された方同士の懇談の場を作ることで、自発的なグループ形成による情報交換を支援させていただくことにより、少しでも不安の解消にお役立ていただければ、と考えています。

具体的には、

- ・「みえ災害ボランティア支援センター」（※次ページ参照）サイトへ「携帯版」を開設
- ・県内情報誌「Simple」などをメール便で送付（無料）（少なくとも今年度中は実施します）
- ・7～8月に県内3ヶ所での座談会の開催（以後は2ヶ月毎程度に開催）などを企画し、準備を進めています。

また、個人情報保護の観点より、みなさまへのアプローチとして、

- ・今回のメール便は、お住まいの市町職員が各封筒に宛名を記載した後、さらに大きな封筒に入れて封印したものを、そのまま当センターお預かりし発送しました。（この段階で、みなさまの住所・氏名を知っているのは、お住まいの市町だけです）
- ・その後、同封の「直送同意書」を返送いただいた方にのみ、以後の情報誌や座談会開催案内を、「みえ災害ボランティア支援センター」から直送します。（この段階から、記載していただいた個人情報を「みえ災害ボランティア支援センター」でお預かりします）

としますので御了承ください。

みなさまの三重県での生活がより良い時間となるよう取り組んでまいりますので、これら趣旨をご理解いただければ幸いです。よろしく願いいたします。

平成23年7月4日

みえ災害ボランティア支援センター
センター長 山本 康史

※ 「みえ災害ボランティア支援センター」とは？

平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震発生を受け、三重県地域防災計画に定める「みえ災害ボランティア支援センター」（幹事団体：特定非営利活動法人みえ防災市民会議、特定非営利活動法人みえNPOセンター、三重県ボランティア連絡協議会、社会福祉法人三重県社会福祉協議会、日本赤十字社三重県支部、三重県（防災対策室、社会福祉室、男女共同参画・NPO室））が同月14日に設置されました。

以来、被災地での災害ボランティアセンター運営支援、三重県からの災害救援ボランティアの派遣（みえ発！ボラパック）、津波などで被災した大切な品々を洗浄し、持ち主にお返しする作業（思い出戻し隊）、各種募金・啓発活動などの救援活動に取り組んでいます。

事務局ボランティアの中には、今回の震災により避難されてきた方も複数見えます。事務局ボランティアは随時募集していますので、興味のある方は事務所までご連絡ください。

また、住所を変更された場合は、ご連絡をいただければ幸いです。

事務所 〒514-0009 三重県津市羽所町 700 番地

アスト津 3 階（津駅東口隣接）

TEL 059-226-6916

FAX 059-226-6918

HP <http://mvsc.jp/>

Mail center@mvsc.jp

携帯版サイト <http://mvsc.jp/>



同封の返信用封筒へ入れてください

支援情報 直送同意書

みえ災害ボランティア支援センターが実施する、三重県内避難者向け支援情報（情報誌送付、座談会案内など）の直送に同意します。

郵便番号 _____

住 所 _____

氏 名 _____

世帯人数 _____ 人

（以下は、随意項目です）

電 話 _____

FAX _____

メールアドレス _____

※記入していただいた情報は、みえ災害ボランティア支援センターが実施する「三重県内避難者向け支援事業」に関する事務にのみ使用します。